

15. てんかん地域診療連携体制整備事業

2021年度石川県拠点機関としての活動状況報告書 医療法人社団浅ノ川、浅ノ川総合病院てんかんセンター 廣瀬源二郎

1. てんかん地域診療連携体制整備

本院では2013年よりてんかんセンター（てんかん専門医2名のうち脳外科医1名を含む）を設置しており、同年より石川県からの『石川県高度・専門医療人材養成支援事業補助金』を受諾して、県内てんかん専門医の育成およびてんかん診療医の教育目的で民間病院として努力を重ね、医師対象のてんかん診断と治療に関する研修講演会と患者および家族対象の市民公開講座を年に1回開催してきている。さらに専門医育成目的のため、日本てんかん学会単位取得認定済みのビデオ・脳波モニター患者を中心とする脳波判読カンファレンス（約2時間）を当院内で開催してきている。これらの実績を認められ、2018年10月当院センターが厚労省および自治体（石川県）によるてんかん地域診療連携整備事業として『石川県てんかん診療拠点機関』として選定され、北陸唯一のてんかんセンターとして石川県のみならず富山県、福井県からも多くの患者の紹介を受け拠点機関選定前と変わらず粛々と医療活動を行っており、着々とその実績を築きつつあり、全国の拠点機関と連携をとり、てんかん患者のため適切なてんかん医療、種々の援助を広めていく所存である。

2. 事業進捗状況

1) 石川県てんかん治療ネットワーク設立

県下の全てんかん患者のリスト作成、患者の居住地域ごとに保健所で一次管理をして、問題あれば家庭、学校から先ず保健所に連絡して、各地域保健婦から当コーディネーターに連絡、ここで相談事項の振り分けを行って対処するというネットワーク構成を考えている。

先ず当県内医療機関で救急および慢性に経過するてんかん患者が受信可能か否かを調べて、ネット上に掲載して特に県内てんかん患者および家族にてんかんの一次治療、二次治療可能な医療施設を十分に周知してもらう目的で調べ各施設の了解のもとにWEB上に掲載した。

2) 石川県および金沢市教育委員会への出前でのてんかんセミナー実施

てんかんを持つ生徒の学校内での発作に対する各学校内での対応は、保健婦の有無を問わず十分とは言えない。その為出前でてんかん生徒の取り扱いをきめ細かく教育する目的で2年前から県教育委員会と連絡して、本年度やっと石川県教育委員会からの招聘を受けた。当連絡協議会では『令和3年てんかんセミナー』の企画で“学校におけるてんかん児の対応”と題して8月6日（金）14時～15時30分、県立いしかわ特別支援学校において当センター中川裕康先生（小児科担当てんかん専門医）が講演して好評であった。今後も県及び市からの要望に応じていきたい。

3) てんかんセンターのコーディネーター業務

2019年3月より半専従（看護師）のコーディネーター1名が当センターへのてんかんに関する相談を受け付ける制度を開始した。

2021年には2名の半専従コーディネーターがてんかんセンターへ紹介された患者の受診時にてんかんに関する問診表作成に立ち合い、必要に応じて援助しておりその総数は178名であった。

当院以外からのてんかん患者から電話相談の件数は3件に留まり、その相談内容は、

- ◆夜間のみ起こるてんかん発作患者の自動車運転の可否
- ◆発作があるのに抗てんかん薬減量を強いられた場合の対処法
- ◆他院で側頭葉てんかんの診断を受けるも信用できず、セカンドオピニオンをいかに取るかの各1件であった。

4) 当センターの2021年診療実績

また当てんかんセンターの2021年の診療実績はほぼ例年通りであり、てんかん手術患者数も14名であった。その内訳は；

- ・内側側頭葉切除術6例
- ・脳梁離断術1例（難治性前頭葉てんかん1例）
- ・電池交換を含むVNSは7例(内3例は新規植え込み術、4例は電池術交換)となっている。

ここに当センターの2021年(1月～12月)の全診療実績を表にして示す。

表。浅ノ川総合病院てんかんセンター診療実績

	小児科	脳神経内科	脳神経外科	合計
てんかん外来新患者数	59	151	172	382
てんかん外来受診数	1109	2387	2115	5611
てんかん入院患者数(年総数)	34	109	230	373
てんかん在院患者数(1日当たり)	0.09	0.30	0.63	1.02
てんかん手術患者数	0	0	14	14
ビデオ・脳波モニタリング患者数	35	24	33	92

5) てんかん患者受診状況調査と件数

	類別	2021年数
受診患者(実数)	入院	373
	外来	1158
受診患者数(年齢別)	成人	1064
	小児	173
受診患者数(性別)	男	658
	女	579
長時間ビデオ脳波モニター検査数(延べ数)		265
外科手術数		14
紹介した患者数		242
紹介された患者数		495

6) 地域医療への啓蒙活動

地域医師団へのてんかん診断、治療法の最新データの提供とてんかん患者及び家族に対する市民公開講座を毎年計画しており、本年も下記の活動をWEB・現地ハイブリッド方式で行った。

- ◆2021年2月7日(日) 10:30-12:00 金沢松ヶ枝福祉館

市民公開講座： テーマ：『てんかんと共に生きる』

講演： 『最新のてんかん治療』

講師：浅ノ川総合病院 てんかんセンター小児科 中川裕康 先生

質疑応答セッション； (11:20-12:00)

◆2021年3月6日(土) 15:00-16:30 金沢商工会議所会館大会議室

てんかん地域医療連携セミナー

講演1：『浅ノ川総合病院における抗てんかん薬処方状況』

講師：浅ノ川総合病院薬剤部長 笹山 潔 先生

2：『最新のてんかん治療とケア』—精神科的見地から—

講師：京都川崎医院院長 川崎 淳 先生

◆2021年7月3日(土) 16:30-17:30 金沢商工会議所会館大会議室

日本てんかん学会東海北陸地方会イブニングセミナー

講演：『症候学からみたてんかん診断とその治療』

講師：浅ノ川総合病院てんかんセンター長 廣瀬源二郎 先生

◆2021年8月6日(金)：14:00-15:30 県立いしかわ特別支援学校

講演：『てんかんに対する理解と学校における対応』

講師：浅ノ川総合病院てんかんセンター小児科 中川裕康 先生

◆2021年11月3日(水・祝日) 10:15-11:45, 金沢商工会議所会館ホール 1階
第13回日本てんかん学会東海・北陸地方会 市民公開講座

『ありふれた病気、てんかんと正しく知りましょう』

・小児の部：浅ノ川総合病院てんかんセンター 中川裕康先生

・成人の部：浅ノ川総合病院てんかんセンター 大西寛明先生

・今回の話題：おじいちゃん、自動車の運転は大丈夫かな？

7) てんかんビデオ脳波モニター記録の症例検討会

月1回の症例検討会は本年も1月から3月は現地、コロナ感染で外部者院内訪問禁となり、4月のみ症例検討会中止、引き続き5月からはWEB+院内参加デュアル方式で第3月曜日午後6時15分から8時に継続した。症例検討会への年間出席者は161名、月平均は15名、症例検討数は年間35症例、月平均3症例であった。参加者の専門医試験合格を期待している。詳細は下記の通りであった。

月 日	出席者数	検討症例数とその症例
1月18日	12名	3例；前頭葉てんかん、側頭葉てんかん、ミオクロニーてんかん
2月22日	12名	3例；前頭葉てんかん、IQSEC2、前頭葉てんかん術後
3月29日	15名	3例；外側側頭葉てんかん、潜因性West症候群、前頭葉てんかん
5月24日	10名	3例；LGI1脳炎、ミオクロニー失立発作、FCDtype3の病理(講義)
6月28日	18名	4例；脳幹ミオクロヌス、LGS、ミオクロニー失立発作補足
7月26日	13名	2例；側頭葉てんかん、変動する四肢筋力低下+脳波異常、てんかん放電
8月30日	15名	4例；側頭葉てんかん、発達性てんかん脳症、前頭葉てんかん、PNES
9月27日	16名	3例；側頭葉てんかん、脳炎後てんかん、前頭葉てんかん(術後)
10月25日	15名	3例；後頭葉てんかん、脳性小児まひ50年後脳波、多焦点てんかん
11月29日	19名	4例；後頭葉てんかん、発達性てんかん脳症、ミオクロニー失立発作てんかん、LGI1脳炎；発作と脳波の特徴について(講義)
12月27日	15名	3例；新生児てんかん、側頭葉てんかん+FCD、前頭葉てんかん+FCD

以上